

セイタカズムシソウ

Liparis japonica (Miq.) Maxim.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

本県ではきわめて稀産の植物である。(現況:RO)

形態

本県にはクモキリソウ属植物に本種セイタカズムシソウ、ジガバチソウ、クモキリソウならびにギボウシランの4種が分布するが、すべて絶滅危惧植物である。本種は偽球茎から出る2枚の柔らかい葉を持ち、長さ6~12cm、幅3~5cm。花茎は直立して20~40cm。淡緑色または帯紫色の花を多数着ける。唇弁の長さは7~9mm、倒卵形、平らで急に尾状とはならず、外曲しない。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、さらに朝鮮、中国東北部、アムールに分布。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

地生の多年生草本。開花期は6~7月。

生育環境

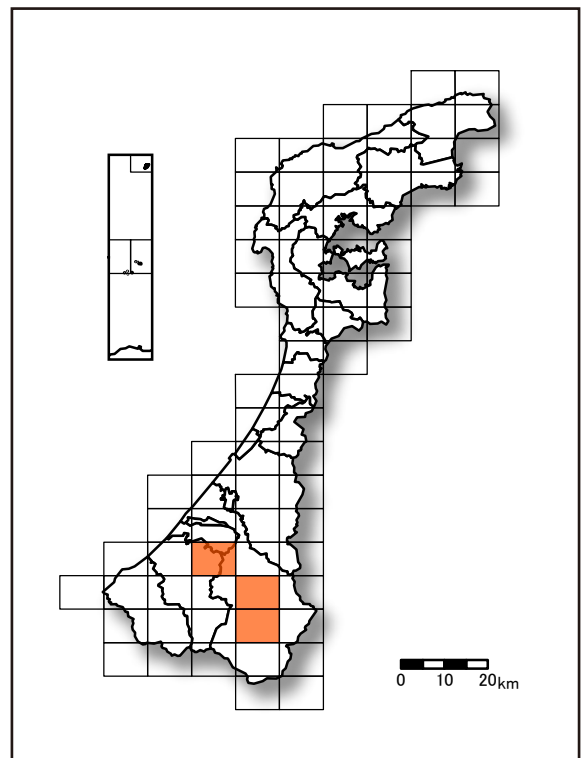
山林の林床など。

危険要因

産地局限。



林 二良・2008年6月15日・白山



県内の分布